

〔新垣善之議員 登壇〕

○2番 新垣善之君 こんにちは。2番 新垣善之です。最初に質問、答弁をいただいた後にまた再質問いたします。

設問1. 南風原バイパスと南風原北インター周辺の開発を問う。(1) 南風原バイパスの工事進捗状況と、供用開始はいつごろを予定しているのか。(2) 南風原バイパスの大名、与那覇地域の側道沿いを用途変更できないか。

設問2. 東部消防組合庁舎建設と火災警報器の普及を問う。(1) 東部消防組合庁舎耐震診断の結果を受け、新庁舎建設の計画・立案はできているのか。(2) 本町の住宅用火災警報器の普及・啓発の取組は、どのようにして行っているのか。また、後期高齢世帯に対しては、補助金を出して設置を促してはどうか。

設問3. 学校給食と中学校制服を問う。(1) 食品や調味料など値上がりする中、学校給食の質や量に、今後どう影響していくのか。(2) 中学校において性的マイノリティーへ配慮した、制服の選択制を導入する予定はあるか。

設問4. 国場川の河川管理状況を問う。(1) 当間橋付近の川に、土砂が堆積している。これからの雨季に備え、対策を講じてはどうか。お願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の南風原バイパスと南風原北インター周辺の開発を問う。(1) についてお答えします。南部国道事務所に確認をしたところ、南風原バイパス側道が字新川からイオン南風原までの区間が3月21日に開通をしました。本線の開通についてはまだめどが立っていないとの回答でありました。

(2) についてお答えします。市街化区域では住居地域等用途の指定がありますが、ご質問の大名与那覇地域の側道沿いは市街化調整区域で用途指定はありません。

質問事項2点目の(1) についてお答えします。庁舎耐震診断の結果を受けて東部消防組合本部新庁舎建設の必要性については、関係町3町において確認をされております。しかしながら、具体的な計画等の立案までには至っておりません。

(2) についてお答えします。東部消防組合による住宅用火災警報器の普及・啓発の広報などは協力して行っています。平成18年の消防法改正以降、同法の規定及び東部消防組合の条例規定により設置を義務化されていること、新築住宅の所有者は自費で設置していることなどから町民全体の公平性を考慮すると、町による後期高齢世帯への火災警報器設置補助金の支出は厳しいと考えております。

質問事項4点目、国場川の河川管理状況の(1) についてお答えします。河川管理者の県へ維持管理の徹底を要請してまいります。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項3番目、質問要旨(1) についてお答えいたします。学校給食に使用する原材料費の値上がりについては、次年度も賄い材料費へ一般財源から補助分1,393万2,000円の計上や、メニューの内容、仕入れ先の工夫等により対応をしております。

続きまして、(2) LGBTなど性的少数者への配慮や多様性の尊重の観点からも制服の選択制については必要性を認識しておりますので、検討をする時期にきていると考えております。以上です。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。先週3月21日木曜日に、国道329号南風原バイパス側道部の一部開通式が多くの関係者や地域の方々の出席のもと盛大に開かれました。その中で沖縄総合事務局、南部国道事務所によると、南風原与那原バイパスの開通によって期待される効果として3点挙げておりました。まず1つ目に、幹線道路、ネットワークの形成による国道329号の渋滞緩和並びに物流、観光などへのアクセス向上、2つ目には、中城マリンタウンプロジェクトや大型商業施設の誘致による地域の活性化、3点目には、救急医療活動の支援、この3つを挙げておりました。現在、国道329号の慢性的な渋滞を緩和、そして効率的な移動手段を大いに期待できるものです。また現在、与那覇地域で戦時中の日本軍壕の文化財調査もありますが、早期の開通を期待しています。しかし、側道部の開通において、この3日間、4日間ですが、私自身が感じたことがあります。その式典が行われた付近の交差点部分ですが、町道3号線、宮平から大名給油所へ向かうところ。町道36号線、宮城からサザンプレックス映画館裏手を通り北丘ハイツへ抜けるところ。町道22号線、県道240号線から大名、北丘ハイツを抜ける線。町道170号線、大名集落を抜ける線がありますが、この交差点付近がいろんな線が混じり合っていると

など思いました。今現在は、春休み中で児童も通学はしていないんですけれども、新学期が始まると新1年生も入学してきますし、初出勤であったり、いろんな場面から通ってくる、出勤の方々もいらっしゃいます。そういった中でこの春休みの期間中に、教育委員会としてどのような通学路の安全性を確保していくのか、質問いたします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 交通量の変った部分については、まず我々のほうでも子供たち、それから学校のほうにも注意喚起を行っていきたいと思います。またあわせて交通の激しさであるとか、量がどのように変ったか、再度こちらのほうでも目視等含めて確認させていただきたいと思います。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。この3日間、4日間のうちで私も各方向から通ってみたんですけれども、やはり新川から勾配のある下り坂であったり、大名方面、宮平方面から右左折してくる車であったり、やっぱり今慣れていないせいかいろんな表示があつて、わかりやすくやってはいるんですけれども、子供たち…、大人も急いで行く場面もあると思うので、そこを地域の方々と交通安全道路マップですか、何かをこの春休みの期間中に地域の方々であったり、学校と通学路の通り方をしっかり練っていけると子供たちも安心して通学路を通れるんじゃないかと思っておりますので、その点、しっかり連携しながらよろしく願います。

続いて(2)は、南風原与那原バイパスの本線が完成すれば、道路インフラが整備され開通します。物流や観光の流れが出てくるでしょう。そういった中で南風原北インター周辺の都市化に向けて取り組んではいかがでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 お答えします。この地域については、総合計画でも広域商業というような位置づけがございます。今、南インターについては具体的に振興が進みつつありますけれども、北インターについても引き続き検討していきたいと思っております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。少し視点を変えて、津嘉山区域は那覇東バイパスから国道507号、津嘉山バイパスが完成し、南部方面への交通の利便性が向上しました。その中で津嘉山地区の区画整理事業であったり、さまざまな都市化に向けて企画立案がされたと思います。その計画立案がされた時期から現在に至るまで、どれくらいの期間を要しているのか。大体でいいですので、よろしく願います。

○議長 知念富信君 経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 ちょっと合っているかどうかあれですけれども、区画整理事業として認可されたのは平成5年に事業認可をとりまして、平成2年、3年ぐらいからA調査、B調査とかそこら辺もやってきまして、意向調査とかですね。それで具体的に事業認可とったのが平成5年。実質着手できたのが、いろいろと地権者の反対とかそういったことがございましたので、着手は相当おくれて、全体的な換地指定が平成11年ですので、それ以降、13年、14年ぐらいからの工事着手となっております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。やはり計画からすると約25年から30年ぐらいの期間を要してこの地域が動いていくわけですので、これから、今平成30年、もう元号が変わりますが、約30年と考えると、私が今40歳ですので70歳ぐらいになります。なので、那覇地域から与那原方面、西原方面に流れていく物流の観点、観光の観点、南風原が北インターをどう位置づけていくかというのも、今から少しずつ計画していくといいまちづくり、都市計画ができるのではないかと思いますので、今後の南風原与那原バイパスの完成を見ながら都市計画をしていけるといいのかなと思います。よろしく願います。

続いて、大きい設問の2番目の東部消防組合庁舎建設を問うということで、私も消防議員として東部消防に派遣されています。今の現状とご提案と、私なりに考えたことが6つあります。まず1つ目には、本庁舎、本部庁舎と訓練棟が築39年を経過しております。修繕費や改修費がかさんでいると聞きます。新耐震基準以前の建物であり、大災害時には消防庁舎機能及び防災拠点としての役割が維持できない可能性があるかと、これが1点目。2つ目には、構成3町の人口増、平成29年12月末では3町の合計で9万3,346人による救急車出動件数の増もあります。平成30年では4,403件と、それに加えて3町それぞれ高層マンションの建築増により35メートル級のはしごつき消防ポンプ車などの新型車両の配備であったり、消防にかかる予算もかなり上がってきております。3点目には、構成3町の都

市計画マスタープランにより道路網や都市計画が大きく変わり、流入人口の増加による災害や救急出動の増加が今後も懸念されると思います。4点目には、平成30年度東部消防組合消防本部庁舎耐震改修簡易検討業務の報告書によると、現況の消防活動や救急出動業務を行いながらの耐震補強は相当困難な工事であると。費用対効果を検討した場合には現庁舎の耐用年数、今39年を経過していますので、残り15年、55年を計算した場合、残り耐震改修の工事費は1億5,400万円を15年で割った場合、年割りすると1,026万円の費用がかかります。また新築、現施設と同等面積とした1,974平米掛ける1立方メートル当たりの予算32万円を耐用年数70年で割った場合には1年間当たり902万円と試算が出ております。

5つ目には、緊急防災減災事業債を平成32年度まで申請できますので、それを活用すると予算の圧縮というのはかなりの効果があると思います。また6つ目には、財政において、これはできるかわかりませんが、ふるさと納税の寄附者が指定できる使い道の欄には、現在6項目ありますが、そこへ防災・減災、消防力強化というのを挿入したり、民間資金等活用事業をつくるなど、早急に予算の確保のための検討会議を行い、新庁舎建設に向けて実行していただきたいと考えていますが、どうお考えでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 東部消防の庁舎建設につきましては、平成31年度の当初で消防組合職員、我々3町構成の担当職員が調整会議をもって、それについてスケジュール、また財政計画等について議論していく予定となっております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 やはり、今現在の3町の人口増であったり、南風原与那原バイパスの完成によりMICE建設が可能なのか、もしくは中城マリンタウンプロジェクトが実行した場合に、人がふえるに当たって建物、観光がどういうふうにかされるのか。そうした消防力がどこまで円滑に、この南風原与那原バイパスを使った、円滑に行えるような環境づくりが大切だと思います。ということで、しっかり予算づけをして、費用対効果でもしっかり出ているわけですので、消防力、生命、財産を預かる感謝というんですか、みんなで消防力の強化に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

続いて(2)ですが、住宅用火災警報器の普及啓発ですが、これは消防組合の管轄として理解しました。勉強不足でした。情報としては本町の住宅用火災警報器の設置率は45.1%であります。東部消防組合では構成3町の目標数値を55%と来年度はしておりますので、しかし、高齢者世帯、特に認知症であったり、私たちもそうですが、火をつけたまま、うっかりという場面がありますので、そういったことがないように、被害が拡大しないような取り組み、自治会と一緒にやっていっていると思っておりますが、より高齢者世帯への防災にもっと寄与できるような取り組みが今現在もなされているのか。町から、区長会に対して何か助言だったりがあるのか、お願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 災害については、消防活動に限らず、大規模災害等を含めて、自助、共助、公助でやっていこうということで考えておりますので、常に区長会を通して、また自主防災組織の結成も促しながら、各自治会、地域とは連携しているところであります。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。やはり生命や財産を守ることでありますので、自治会であったり民生委員だったり、ちょっと危ないなという世代の、高齢者世帯にはどうか設置ができるような取り組みがなされるように促していただきたいと思います。

続いて設問3番目の学校給食の(1)から行きます。平成30年4月から食料品等が値上がりし、さらにことし10月からは消費税10%へと税制改正が行われますが、学校給食に影響はないかということで質問をしましたが、一般財源からも補うということでありました。また今年度滞納額が約800万円程度あり、これについても献立や食料の調達、支払いに問題はないのか、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 滞納額等については、直接影響するものではないんですけれども、おっしゃるような消費税、それからいろんな値上げ等に伴う原材料の値上がり等については、こちらのほうでも非常に注視して、どういうことが起きるのかということ、今いろいろシミュレーションしているところです。ですけれども、基本的に一般財源から補った分を賄えるようにメニュー、それから仕入れ先、それからいろんな給食の、栄養士の工夫を入れて対応しているところです。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 やはり学校給食ということで、昼ご飯をしっかりと、児童生徒、幼児を含め健康管理ですね、値上がりしたからといって保護者から給食費として納付していただくものもありますし、そのあんばいはしっかりと計算しながら充実した学校給食に取り組んでいただけないかと思えます。よろしくお願ひします。

続いて(2)中学校において、性的マイノリティーに配慮した制服の選択制を導入するということですが、現在、制服を採用している県内の県立高等学校58校の中で性別に関係なく制服を選択できる学校は現在3校あります。また新たに平成31年度より25校導入する予定であると。また検討している学校は9校あります。高等学校においても性的マイノリティーや冬場の防寒としての機能性を重視して選択制が広がりを見せています。また学校教育における教材教具の変遷を見てみると、体育着ではブルマから短パン、ハーフパンツへ、色では男子は黒、女子は赤であったが、現在は、学校単位や学年単位で色や柄が統一されています。ランドセルも赤や黒から、今では150種類50色と機能性やデザインが豊富にあります。学校現場において生徒から性的マイノリティーに関する相談があるかと質問したいのですが、あえてしません。なぜなら思春期の子供たちというのはしたくでもできない、相談したいけど人とのかかわりの中で自分が本当に合っているのか、相談しにくい場面がありますので、数的には少ないと思えますが、そういった子供たちのために第2次成長期である中学時代、人とのかかわりの中で自我を確立していく中、親や教師、友人に相談できないさまざまな悩みが個人個人、内に秘めています。どうしたらいいんだろうという心の叫びを我々大人や社会が感じとるべきではないでしょうか。その要因の1つに制服というストレスに関して毎日着るものであり違和感がある。そういった悩みや我慢を制服という重たい鎧ですね、ああ、毎日制服見て嫌だな、学校行きたくないなという、1つの鎧を我々が外してあげればどちらでもいいんだよということ、自然と制服のあり方があれば子供の生き方が変わってくるのではないのでしょうか。是非制服に関する検討委員会を開き、改善に向けて取り組んでほしいと思えます。加えて、もし実現するのなら、夏服にも冬服にも一部南風原縞を使用し、地場産業のピーアールや子供たちの地元意識や郷土愛を育まれていくと思えます。改めて町長にお伺ひします。長い教育長の経験を経て、子供たちと接する中、いろいろ感じるものがあつたと思えます。このご提案に対してご答弁いただけないでしょうか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 新垣善之議員の中学校の制服に関するご質問にお答えいたします。私も基本的には議員と同じ考え方でございます。ただ、若干考え方が違うのは、中学校までは、個人の思いというのは尊重するわけですけれども、ある程度中学校までは制服を着用していただきたいと思います。高校生ぐらいからは恐らくそれなりの判断がしっかりとできますので、制服の選択制というのも十分に浸透していくと思うんですけれども、中学校まではある程度、保護者の方、あるいは学校の先生方のアドバイス等も必要かという気もいたします。ただご質問のとおり、実際そういったことで制服が鎧になっているという、そういう生徒がいるのであれば、それはやっぱり本人の考え方を尊重してあげることでも教育の一環かと思えます。ただここで申し上げておきたいのは、やはり中学校ですの、制服もセーラー服か学生ズボンかという、これの選択であつて、制服にするか、自分のフリーの洋服にするかというのとまた別だと思つておりますので、やはりセーラー服か学生ズボンかどっち、スカートにするのか。その辺の選択というのは本人の考え方を尊重するということがあつてもよろしいかと。ただこれを決めるのはあくまでも現場だと思つております。教育委員会がこれを決めて、トップダウンでおろしていくというよりも、やはり学校の現場のほうでいろんな条件を整備した後にそういったような手法も取り入れるということではよろしいかと思つております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。やはり制服という概念は持ちつつ、私も私服ではなくて、男性も女性も、ズボンであろうが、スカートであろうが、どちらを着てもいいんだということを選んでもらうために、そういったデザインづくりというか、それをやっていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

続いて4点目、宮平川の河川管理状況を問うということで、これは具体的には当間原から北丘小学校向けにありつた左手、当間南橋と平原橋ですかね、そのところで土砂が堆積しています。私も3年前まではそこら辺に住んでいたんですけれども、3メートルぐらい土砂が堆積しているような感じを受けます。今後夏に向けて雨季がやってまいりますので、防災の観点からしっかりと除去ができるように、南部土木事務所に訴えていけるとい

2-3

いのかなと感じております。以上、4点質問しました。以上です。ありがとうございました。